

NEWS LETTER

山口大学工学部



vol. 9 December 2019

PICKUP

◎工学部の先輩からのメッセージ



大学受験を間近に控えた皆さんへ、昨年、大学受験を経験しました工学部1年の先輩3名からのメッセージを紹介します。

知能情報工学科 荒田 翔惟 さん 倉吉東高等学校（鳥取県）出身	循環環境工学科 神宮 佑紀 さん	応用化学科 木村 真那 さん 沼津東高等学校（静岡県）出身
1. 今の学科を選んだ理由		
留学に力を入れていることをホームページで知り、自分の好きなパソコン(プログラミング)について学びながら国外で勉強してみたいと思ったのがきっかけです。	化学系に進みたいと考えており、自然や環境に興味があったので、この学科を選びました。環境を軸に化学系から生物系まで幅広い分野を学ぶことができる学科だと思います。	身近な現象を説明できる化学が好きで、化学関係の仕事に就きたいと思い、志望しました。 
2. 受験直前に行っていた受験対策		
センター対策では、時間と精度を意識しました。同じ問題は二度と間違えないようにする他、同様の解法を用いる問題の確認も要チェックです。二次試験では間違えた分野の復習だけでなく、問題集の類題を確認し、解法のバリエーションを増やすことに心がけました。どちらの試験も基本的な力が求められるので基礎を疎かにしないことが受験突破の鍵です！	12月～1月はセンター対策を中心に行っていました。特に、数学と英語は時間を意識して過去問に取り組みました。間違えた問題を後回しにせず、次は絶対に間違えないように復習を行うことが大事だと思います。	センター対策中心に勉強していました。センター試験の過去問をメインに解いて、苦手な分野は参考書で補っていました。絶対出る分野を完璧にすることが大切だと思います。時間を測りながら解くことをおすすめします。
3. 受験生への応援メッセージ		
大学に入って最初の夏、約1か月半の間、海外留学に行けた時、苦手な数学から逃げなくてよかったと思いました。受験生の皆さんは、迫りくる受験で逃げ出したかもしれません。しかし、この数か月を努力できるかできないかで夢に近づけるかが決まると言っても過言ではないでしょう。「逃げずに頑張った！」と自分を誇れるような結果になることを祈っています。では、工学部でお待ちしています！！	試験が近づいて焦りや不安の気持ちでいっぱいになり、自分が今やるべきことが分からなくなることがあると思います。そんなときは、私は「全部を完璧にこなせなくてもいいから、やれるところまでやろう」という気持ちで勉強に取り組んでいました。最後の最後まで諦めないでください！！	センター試験まで約1か月、焦る気持ちはとても分かります。自分に足りないこと、優先的にやらなければいけないことを明確にして、コツコツやっていけば大丈夫です！ 大学生活は思った以上に楽しいことばかりです。あと少し自信を持って頑張ってください！！ 

TOPIC 第70回常盤祭を開催しました

11月16日(土曜日)、第70回山口大学工学部常盤祭を開催し、当日は、天候にも恵まれ、延べ1000人以上の方が来場されました。

実行委員長による開会宣言の後、自衛隊の方々による吹奏楽の演奏に続き、お菓子投げ、ビンゴ大会、ゲストLive GRANRODEOによるライブなど、様々なイベントが行われ、会場は大いに盛り上がりました。更に、同日開催された工学部ホームカミングデーとの合同企画として、もちまきも行われ、学生だけでなく様々な世代の方々に楽しんでいただきました。

また、模擬店では、研究室やサークルからたこ焼き、焼き鳥など飲食物のお店や化粧品店によるハンドトリートメント、自動車学校による追突禁止ゲームといった催し物もあり、模擬店を訪れた地域の方や家族連れの方の楽しむ姿も多く見受けられました。

